

専門学校生が聞き出した本音の報告書

「天神地区」買い物行動分析

天神白書

2005

2005年11月(第2回)

大村ファッションデザイン専門学校 未来感性研究室

はじめに

九州随一のショッピングエリア天神が再び動き出している。地下鉄七隈線(3号線)の本年2月開通を受け、天神南駅との接点になる天神地下街が延長されたからである。テナント数50を数える大規模な増床であった。

昨年、第一回目となる『天神白書』では、天神の中心軸を探す動線調査を実施した。その結果、天神ショッピングエリアの中心は、大名にあるブーケ・ショップとポールスミス・ショップの間であることを突き止めた。

そして、今回も天神の中心軸を探す動線調査を半年間におよび昨年と同じ5箇所を実施した。あれから一年、来街者の流れはどう変わったのか。地下鉄3号線や天神地下街の延伸が天神エリアに及ぼした影響は、どのように現れたのか。第一章と第二章を通じて洞察していただきたい。

第三章では、団塊ジュニア世代の天神エリアに於ける購買意識調査を実施した。既婚 VS 未婚、子供がいる VS いないなど、生活環境にバラつきが多いこの世代のターゲットが、天神エリアをどのように感じているのかは大変興味深いところである。

プレゼンテーションの目玉は、初の企業タイアップによるパネル・ディスカッションとなった。テーマは「インターネットショッピングの現状と未来」である。パソコンや携帯サイトを活用する若者の実態から未来予測までを第四章に掲載している。

第五章には、『天神白書』の制作にあたったファッションビジネスコース20名の学生が考えた「新しい販売促進とビジネスモデル」を掲載した。

巻末には、大村ファッションデザイン専門学校の学生が取り組む様々なカリキュラムやイベントも紹介している。

企業各社のご支援をお願いすると共に、今後の活動に期待をして頂きたい。

2005年11月

学校法人 大村ファッションデザイン専門学校
総合監修 有限会社 デイアンドエイチ・グループ 代表取締役
マーケティング講師 手嶋 康 則

Contents

調査のねらい	P.2~3
調査設計	P.4
来街者の性別と対象年齢	P.5
来街者の県別居住地構成	P.6
県内来街者の居住地構成	P.7
来街者の職業	P.8

天神エリアにおける来街者の中心軸について	P.10
天神エリアで1番初めに立ち寄る商業施設と地区について	P.11
経路ポイントについて	P.12
天神エリアで最終目的地となる商業施設と地区について	P.13
天神エリアの購買行動 主力動線について	P.14~15
天神エリアの中心軸について	P.16

第3章 団塊ジュニア世代の購買行動

企画趣旨	P.18
団塊ジュニア世代の実態	P.19
支出の内容について	P.20
ファッションへの支出額について	P.21
好きな店舗について	P.22
天神エリアで買物をする店について	P.23
気になるブランドについて	P.24
天神エリア環境変化について	P.25
団塊ジュニアの変化について	P.26
子育てをする団塊ジュニアについて	P.27
子育てとファッションの関係について	P.28~29
天神エリアの好きなところ、嫌いなところについて	P.30~31
郊外のショッピングセンター施設について	P.32
古着について	P.33
調査結果	P.34

Contents

買物情報は何かから得ているか	P.36 ~ 37
無店舗販売での購入実態について	P.38 ~ 40
インターネットショッピングへの関心について	P.41 ~ 43
インターネットショッピングを始めた時期と年間の回数	P.44
インターネットショッピングでの購入実績について	P.45
インターネットショッピングでの購入動機について	P.46
インターネットサイトのシェアについて	P.47
インターネットショッピングの満足度について	P.48
インターネットショッピングを利用する理由について	P.49
インターネットショッピングで欲しい商品について	P.50
インターネットでの買い物をする場合の予算の上限	P.51
インターネットショッピングの予算と信頼度について	P.52
携帯サイトの利用について	P.53
ネットオークションなどでの売買について	P.54 ~ 56
インターネットショッピングの将来性について	P.57 ~ 58

販売促進方法	P.59 ~ 60
ビジネスモデル	P.61 ~ 62

織研新聞が掲載した大村ファッションデザイン専門学校の活動	P.63 ~ 66
大村ファッションデザイン専門学校の10の学習プログラム	P.67 ~ 70

第1章 「来街者調査」からみた天神エリア

調査のねらい	P.2～3
調査設計	P.4
来街者の性別と対象年齢	P.5
来街者の県別居住地構成	P.6
県内来街者の居住地構成	P.7
来街者の職業	P.8

九州は、各県がそれぞれ核となる都市を有し、政治・経済・文化を色濃く形成している。しかし、近年交通アクセスの発展により、ヒト・モノ・情報が福岡の特に天神エリアに一極集中してきている。

今回、この天神エリアを訪れる来街者を対象に基礎データ(第2章 546名、第3章 198名、第4章 605名)にも及ぶアンケート調査を実施・分析することができた。

第 1 章

「来街者調査」からみた天神エリア

調査のねらい

ソラリアプラザを中心に天神地区を東西南北で分け、主要商業施設及び地区から 17 箇所を選び出し、更にその中の 5 箇所を指定調査箇所(アンケート実施場所)として、天神地区における買い物行動動線調査を行った。

天神エリアの主要商業施設と指定調査箇所(印)

イーストエリア

天神コア 天神ビブレ イムズ 地下街

ウエストエリア

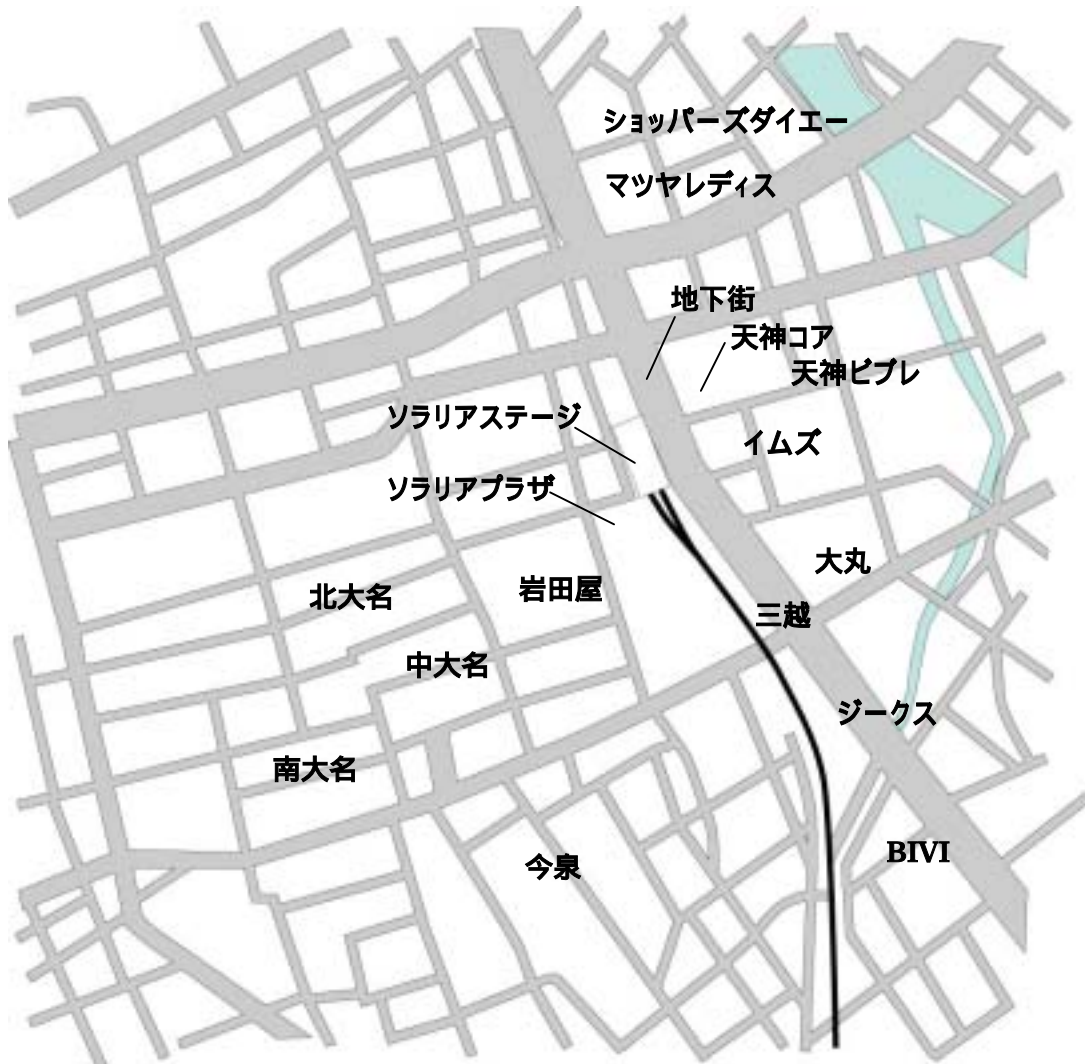
ソラリアプラザ ソラリアステージ 岩田屋
 中大名 北大名 南大名

サウスエリア

大丸 今泉 三越 ジークス BIVI

ノースエリア

ショッパーズダイエー マツヤレディス



第1章 「来街者調査」からみた天神エリア

- 調査目的 <その1>

天神エリアにおける来街者の中心軸を探し出す。
天神エリアを東西南北に分け比較・検討する。

- 調査目的 <その2>

天神エリアにおける団塊ジュニア世代の買い物やファッションに関する実態を解明する。

- 調査目的 <その3>

インターネットや携帯電話を活用した世代別での
買い物の実態を分析する。



天神コア



ソラリアプラザ



大丸



今泉



大名



インタビュー風景

調査設計

調査地点 (2 ページの MAP に示す 印)

天神コア ソラリアプラザ(警固公園) 大丸 中大名 今泉

調査実施期間 2005 年 5 月 10 日 ~ 9 月 10 日まで

調査方法 街頭インタビュー方式によるアンケート調査

調査対象 天神周辺を歩いている人

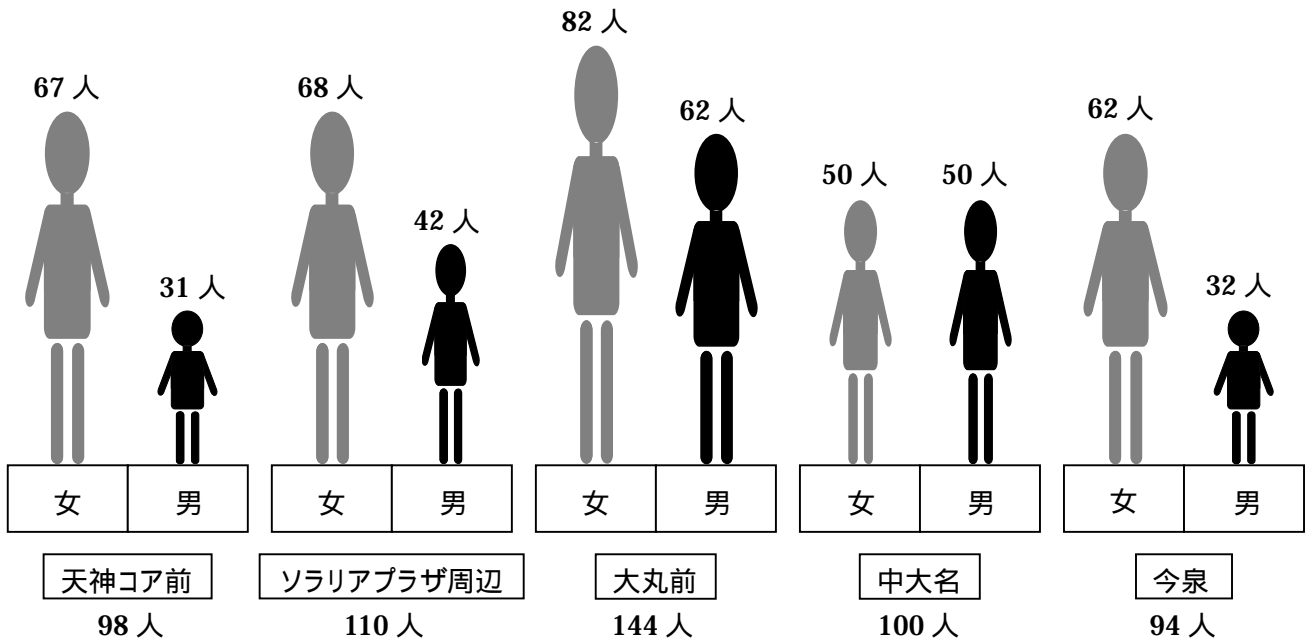
調査規模 全調査有効回答数 1349 人

第 2 章 買物行動調査の有効回答数 546 人

第 3 章 団塊ジュニア世代の調査有効回答数 198 人

第 4 章 インターネットショッピングの調査有効回答数 605 人

第 2 章 買物行動調査の有効回答数内訳(546 人)



私たちの視点


- 対象者の 60% は女性で占めた。
- 平日の大名は、夕方から人が増え、休日の名は、夕方から人が減る。
- 平日の大名は、専門学校生が多い。休日の名は、高校生も多い。



第1章 「来街者調査」からみた天神エリア

来街者の性別と対象年齢

女性



アダルト (26才～) 10%

ハイティーン(15～17才) 3%

ヤング (18～21才) 59%

ヤングアダルト (22～25才) 28%


私たちの視点

来街者は6:4で女性が多い。

女性は買物目的だけではなく、ウィンドウショッピングや食事をするため、暇だからという感じでなんとなく来る傾向がある。

逆に男性は買物やアルバイトなど、目的がハッキリしている人が多い。

男性



アダルト (26才～) 11%

ハイティーン(15～17才) 1%

ヤング (18～21才) 59%

ヤングアダルト (22～25才) 29%

私たちの視点

天神で一番多い年齢層はヤング、その次がヤングアダルトだった。

おしゃれに最も敏感な年齢だと考えられる。

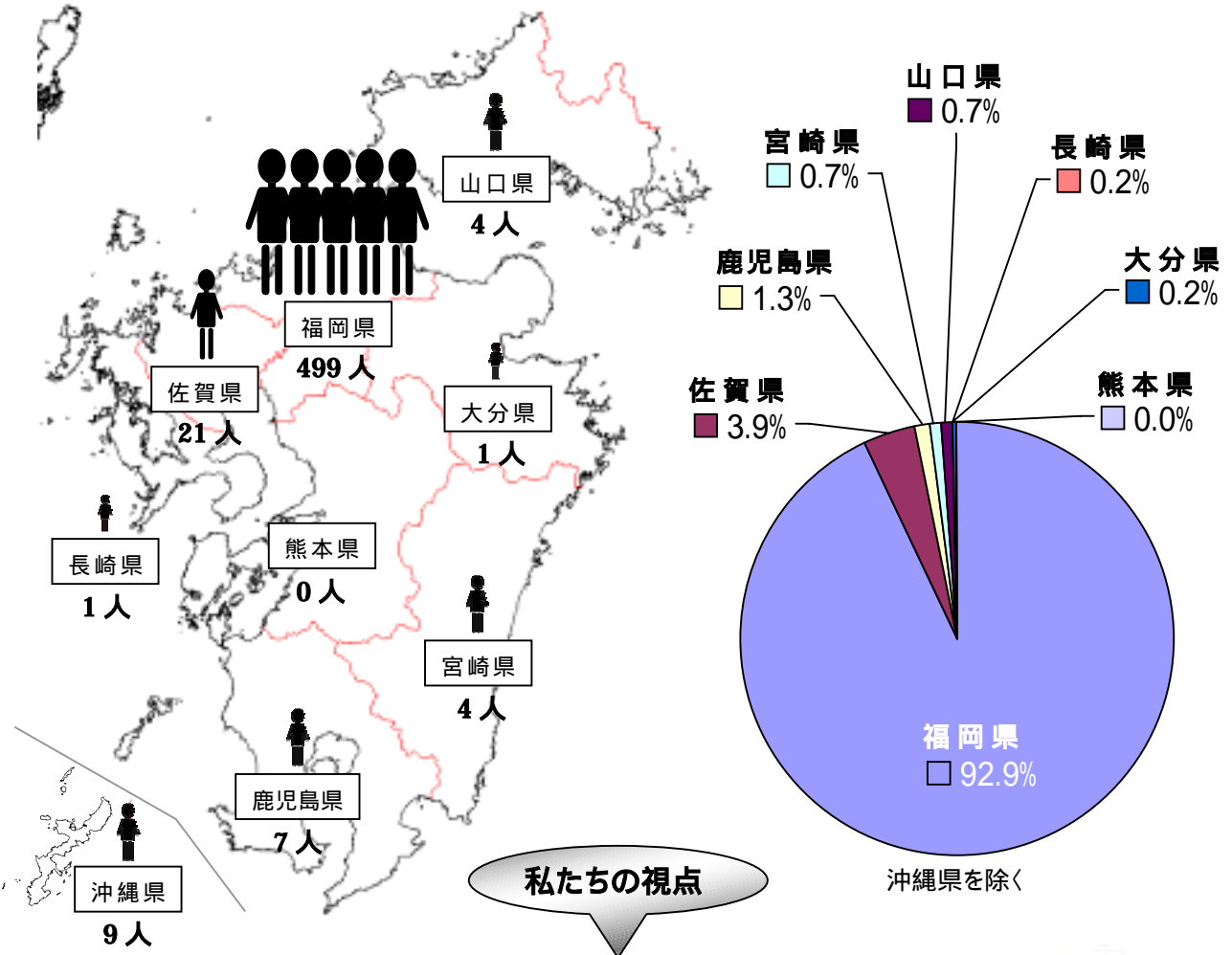
また、この年頃は買物だけではなく、アルバイトや仕事のために天神に来ることも多いからだろう。

人数(人)	女性	男性	全体
ハイティーン	9	4	13
ヤング	195	127	322
ヤングアダルト	91	62	153
アダルト	34	24	58
合計	329	217	546

男女ともおしゃれでファッションセンスがある人を狙ってアンケートをとりました！



来街者の県別居住地構成



私たちの視点

沖縄県を除く

- やはり福岡が 9 割以上占める結果となったが、熊本を除くその他の九州・山口からは全て来街者があった。九州の中心である福岡は都心の近くに福岡空港を擁し、JR博多駅、西鉄福岡駅などもあるため、遠方からも利便性が高い。
- 天神エリアを中心とした福岡への一極集中がますます激しくなっている。

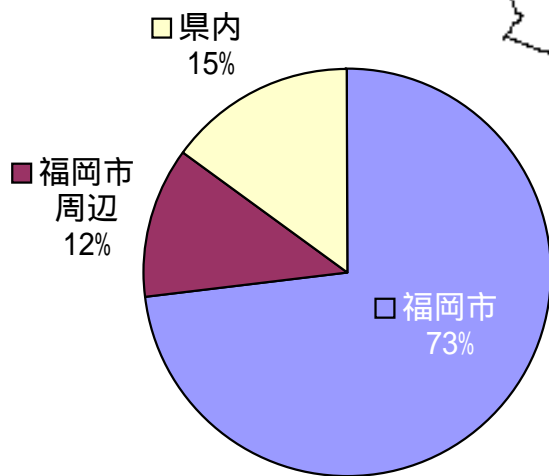
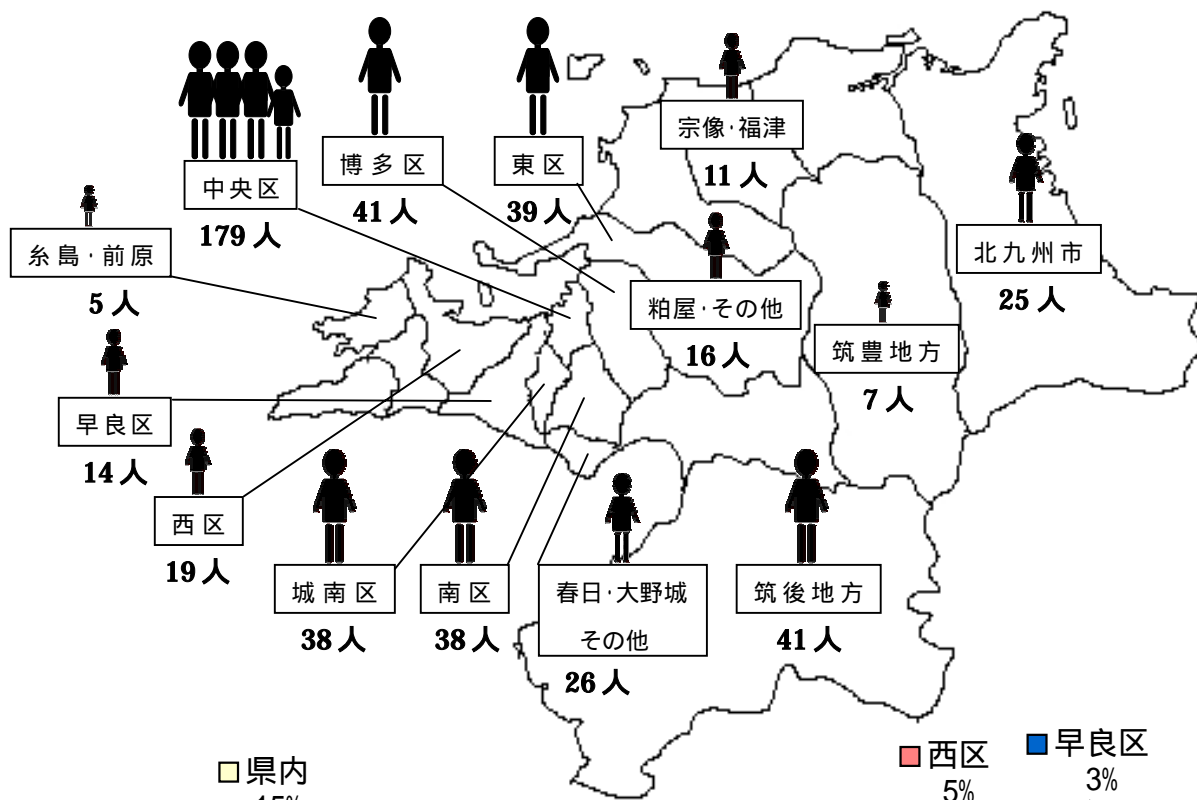


- 2004年3月13日に開業した「新幹線つばめ」の影響で鹿児島県からの来街者が意外に多い。
- 佐賀県からの来街者は多いが、熊本県からの来街者が少ない。熊本県は市内のショップが充実しており、天神エリアにわざわざ足を運ぶことをしないと思われる。

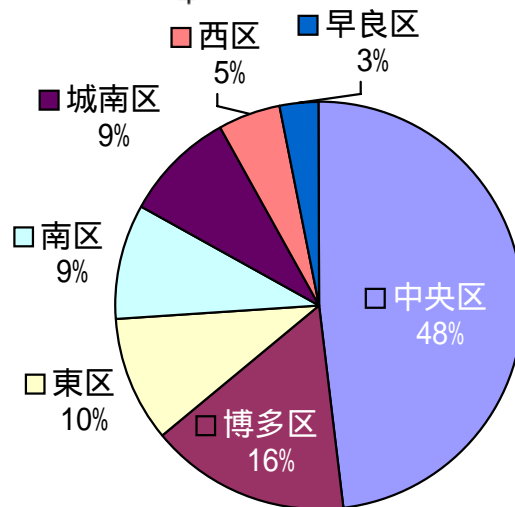


第1章 「来街者調査」からみた天神エリア

県内来街者の居住地構成 (499人)



福岡県内



福岡市内

私たちの視点

- 西鉄大牟田線の影響なのか、筑紫郡や筑後地方の南部からの来街者が多く見られる。
- 地下鉄七隈線が2005年2月3日に開業されたがその影響は少なく西区、早良区、城南区からの来街者は少ない。
- 中央区に一人暮らしの学生が集中し、自転車や徒歩で天神エリアに来ている。



来街者の職業

職業別集計

職業	人数		
高校生	14	学生	277
学生(未判別)	121		
短大生	1		
大学生	77		
専門学生	64		
フリーター	62	フリーター	62
主婦	19	主婦	19
販売員	45	サービス・ 販売職	86
美容師	15		
サービス業	5		
インストラクター	7		
飲食業	14		
会社員	68	事務・営業職	82
事務	8		
公務員	5		
銀行員	1		
介護士・看護師	8	その他	20
トラック運転手	2		
システムエンジニア	2		
その他	8		
合計	546		